令和８年　第 10 回小松市教育委員会定例会会議録

１　日　時　　令和８年９月 29 日（火）
開会　10 時 00 分
閉会　10 時 28 分

２　場　所　　小松市役所６階　教育長室

３　出席委員

教育長	山本　民夫
教育長職務代理者	中惣　恭子
教育委員	村井　啓介
教育委員	浅蔵　一華
教育委員	表　幹也

４　事務局出席者

事務局長	藤井　勝司
教育庶務課長	中川　久美子
学校教育課長	新名　孝
教育研究センター所長	中田　一宏
生涯学習課長	中屋　清志
図書館長及び南部図書館長	北村　悦子
ひとともものづくり科学館副館長	多井　伸明
市立高校事務長	村田　篤哉

５　書記
教育庶務課課長補佐　　湊　幸子

６　傍聴人数　　４人

７　付議案件
（１）議案
議案第 22 号　令和６年度小松市立学校生徒自死事案詳細調査委員会設置要綱の制定について（学校教育課）

（２）報告事項
報告事項第 30 号　令和７年度小松市歳入歳出決算（教育委員会分）について（教育委員会）
報告事項第 31 号　令和８年度市立中学校・義務教育学校卒業式の日程について（学校教育課）

報告事項第 32 号　令和８年度全国学力・学習状況調査の結果について（学校教育課）
報告事項第 33 号　令和９年度広域通学希望者の募集について（学校教育課）

８　議　事　　以下のとおり

山本教育長　　只今から、令和８年第 10 回小松市教育委員会会議を開会いたします。
本日は、傍聴を希望する方はいらっしゃいますか。

書記　　おります。

山本教育長　　本日は傍聴を希望する方がいらっしゃいますが、許可してよろしいでしょうか。

各委員　　＜異議なし＞

山本教育長　　傍聴者の入室を認めます。

＜傍聴者入室＞

山本教育長　　携帯電話をお持ちの方は、電源を切るかマナーモードへの設定をお願いします。
本日の議事は、議案が１件、報告事項が４件、その他報告事項、協議事項はありません。
本日の会議録の署名委員は小松市教育委員会会議規則 18 条第２項によりまして表委員を指名いたします。
議事に入りますが、議案第 22 号は非公開とすることをお諮りしたいと思いますが委員の皆さんいかがでしょうか。

各委員　　＜異議なし＞

山本教育長　　それでは、出席委員全員の賛成をいただきましたので、本日の議事のうち、議案第 22 号は非公開といたします。

山本教育長　　それでは報告事項に入りたいと思います。事務局お願いします。

藤井事務局長　　私からまとめて説明いたします。先日、議会の方にも説明した内容になりますが、令和７年度の決算についてです。まず一番上スクールバス購入費ですけれども、松東みどり学園のバス１台の更新で昨年度決算として実施をしました。小学校安全・安心な学校づくり費というのは学校からの要望をもとに環境改善を実施する事業です。令和７年度は５年目になってまして、遊具の更新等を行っています。小学校校舎等改修費は防衛省の補助を使って能美

小・国府小・木場小の空調復旧工事、犬丸小・月津小の空調復旧工事実施設計、加えて、市単独で各校の改修工事も実施いたしました。中学校の安全・安心な学校づくり費も小学校同様で、令和７年度で５年目になります。照明のＬＥＤ化工事などを実施しました。中学校校舎等改修費は、文科省の補助による板津中の講堂外壁アスベスト工事などを実施しました。松陽中学校整備費は、令和 12 年度までの期間のうち、令和７年度は、松陽中の前に通っている道路の振り替え工事や、上下水道の移設に関する周辺工事を実施しています。今年度から第１期工事として普通教室棟の増築に着手いたしています。未来を広げる奨学生支援費は奨学金に関する決算です。このうち、大学短大専修学校への進学者を対象とした貸与型の奨学金については、市内の在住、市内事業所への勤務を対象に、返済額の２分の１の減免措置を規定として設けてるんですけれども、その要件が、例えば、本人の意思にかかわらず転勤があった場合に、そこの市内の事業所に勤められないというケースも出てくるので、条例改正をして少し要件を緩和したいなというふうに思っています。あくまでも、市内に在住しながら転勤でどこかへいってしまった場合は可としないと、本人の意思とか、その元々の目的とちょっと合致しないっていうケースも出てきてるので、その改正を検討中です。英語力向上費については中学３年生の英語賞の授与と中学２・３年生の英検１回分の検定料の助成を行いました。部活動地域移行推進費 1,741 万 9,000 円については、休日における中学校部活動の地域移行、地域展開を実施する団体への活動助成の経費です。令和７年秋から、運動部 15 種目で実施し、文化部は現在、吹奏楽について試行的に開始の準備をしています。ただ、今後中学生の放課後の前ちょっとお話しましたけど、放課後の活動のあり方自体も見直していく必要があると思ってまして、今現在、生涯学習課中心にガイドラインを作成してまして、それについてまた案ができ次第、委員の皆さんにお示しして議論いただければなというふうに思っています。学校給食運営費は、自校調理方式による学校給食の提供に要する経費です。向本折小・蓮代寺小は直営、その他 29 校が委託方式で実施しています。学校給食費は公会計として、学校給食の食材料の調達等の経費、それから学校給食無償化に係る、弁当を持参せざるをえないようなお子さんであるとか或いは市外の小中学校に通っている方々に対する補助金です。市内在住の保護者を対象に学校給食の完全無償化を実施してますけれども、給食の質を確保するよう昨年度も途中で補正予算を計上して、食材の高騰に対応しました。今後も、もし食材が上がった場合に、ちゃんと補正予算で対応してやっていきたいというふうに思っています。ＩＣＴ教育環境整備費、６億 366 万 2,000 円については、小学校中学校義務教育学校におけるＩＣＴ関連の経費です。金額大きいんですけれども、昨年度は第２期のＧＩＧＡ構想のタイミングと重なってまして、学習端末 8,800 台をＣｈｒｏｍｅｂｏｏｋに更新いたしました。またクラウド型の学習支援ソフトやＡＩ型学習ドリルの利用など、ハードソフト両面での充実を図

っています。今年度は電子黒板や生成ＡＩなどを活用した授業づくりに取り組んでいるところです。教育相談費は、不登校の児童生徒や保護者、担任等の相談対応と支援を行う経費となっています。そこの庁舎、昔は車庫棟って言ってたところですけれども、庁舎西側の旧車庫棟をリニューアルして、ふれあい教室を芦城公園のところから移設しました。相談件数は約 4,400 件で、令和６年度よりも若干増加している状況です。子供歌舞伎勧進帳上演費 650 万円は、令和７年度の日本こども歌舞伎まつりにおける子供歌舞伎勧進帳上演と、今年度の準備経費となります。放課後児童クラブ運営費は 36 クラブの運営費です。14 クラブが指定管理委託料、22 クラブが交付金で運営されています。公民館活動振興費については、市立公民館９館、校下公民館 25 館の活動費となっています。市立公民館の９館では、約 100 講座が展開され、延べ１万人強が受講している状況となっています。学校開放推進費は学校体育施設のうち、地域開放に要する経費となってます。令和７年度の決算 5,474 万円の内、約 5,300 万円が屋外照明のＬＥＤ化分で、その結果、金額が大きくなっているという状況です。図書館については、令和７年度の市立図書館の来館者数は延べ８万 945 人で、令和６年度に比べて、若干減少してる状況です。ただいま、芦城公園で予定されている未来型図書館と複合施設の整備も今後本格化して参りますので、スムーズな図書館業務の移行と拡充が図られるよう、図書館チーム、市長部局ですけれども、そこと連携を図っていきたいと思っています。ひとともものづくり科学館魅力アップ費はサイエンスヒルズの展示更新やＬＥＤ化、Ｐｙｔｈｏｎ、プログラミング言語の関係ですけれど、Ｐｙｔｈｏｎプログラミング教室の実施経費となっています。来館者は、昨年度９万 2,554 人、令和６年度の 10 万 9,228 人に比べ減少してます。現在公立小松大学と連携したプログラミング教室の拡充や、今後、サイエンスヒルズは新幹線駅に隣接してるという立地条件、或いはウレシャス小松もできましたので、そこを生かしたＭＩＣＥの誘致などを推進していきたいと思っています。市立高校活性化推進費 1,896 万円は、生徒教師用の学習用タブレット端末約 200 台の更新やＡＩ型学習アプリの利用、公立小松大学教授等による出張講座などに要する経費となっています。令和８年４月の入学募集は、普通科で倍率 0.94 倍、芸術コースが 0.54 倍、令和７年４月が、普通科は 1.0 倍、芸術コースは 0.71 倍となっています。簡単ですけれども決算の説明は以上となります。

山本教育長　　ただいまの報告について質問等ありませんでしょうか。

＜質疑なし＞

山本教育長　　それでは続きまして、学校教育課お願いします。

新名学校教育課長　令和８年度の市立中学校義務教育学校の卒業式の日程についてです。入試の日が３月９日、10 日と決まりましたので１日あけた３月 12 日金曜日を卒業式とするものです。これについては以上になります。

山本教育長　ただいまの報告について質問等ありませんでしょうか。

＜質疑なし＞

山本教育長　例年通り各学校に行っていただくことになるかと思いますので、またその際はよろしくお願いします。
それでは学校教育課は続けてお願いします。

新名学校教育課長　令和８年度の全国学力・学習状況調査の結果についてです。小６と中３を対象に４月に行っているものです。国語、算数数学の各小・中学校２教科での実施です。学年ごとに身につけておかなければならない基礎的な内容と、それを活用する力を合わせて確認することができる調査となっております。次のページの調査結果の状況について、ご覧ください。小学校国語、算数ともに良好な結果となっております。中学校は全国平均を上回るが、県平均を下回る結果となりました。課題として、小学校は国語の記述、それから算数では図形に課題が見られました。中学校は国語の記述、特に無回答の割合が高いというところが、課題として挙げられます。数学ではデータの活用という部分に課題が見られました。続いて質問調査についてです。まず生活・学習習慣に関してはスマホやネット等の利用状況としては、小中ともに、国、県よりも短い傾向にありました。勉強時間は、小中学校ともに、国県と比べ、１から２時間の割合が多くなってるのが特徴だったかなあというふうに今回は思います。学習への主体性については、小中ともに良好な結果がえられています。続いて、ＩＣＴの活用ということになりますが、小学校は県を上回り、全国とほぼ同じ結果でした。中学校は県と比較して、ほぼ毎日利用している割合が低い。そこの部分が、今現在抱えている課題になるかなというふうにとらえております。児童生徒の意識については、分かるまで教えてくれているという内容について、小学校は良好な結果がえられています。中学校の方で「当てはまる」の割合が低いところに課題が見られるかなというふうに思っています。以上の結果から、小学校は全体的に良好、中学校の方で授業の中でのＩＣＴの活用、個に応じた学び、個別の支援等を充実させていくといいんじゃないかなというふうに感じております。この件については以上になります。

山本教育長　ただいまの報告について質問等ありませんでしょうか。

中惣委員　　本市は、学校に行くのが楽しいに「当てはまる」との答えが少ないのがとても気になります。その要因として何か思い当たるようなことがございましたら教えてください。

新名学校教育課長　　中惣委員おっしゃる通りで、ここが、いつも国県より少し下回ってしまうっていうのが小松市の課題だなというふうに思っています。それで、各学校の方で今取り組んでいるのが、授業の中で、特に授業が一番学校の中で占める割合が高いので、その中で、できたわかったっていう経験をたくさんしてもらえるっていうことと、さらにその内容をクリアできたかどうかってことはもちろん大事なんだけれども、その一人一人自身が、どこまでできたのかとか、どのように頑張れたのか、それぞれの良さを認めていくっていうことを、緻密に行っていくっていうようなことを大事にして欲しいということは今学校に投げかけているところです。

山本教育長　　今、中惣委員からご質問ありましたように、やはり、学校が楽しければ、学びですよね、学びが楽しくなれば、学力も上がると思いますし、今本当に社会問題化している不登校問題等も、学校が楽しければっていうところにあると思います。そのあたりで、一方的な授業ではなく、生徒が主体的に参加できるような、そんな取り組みをどんどん今入れていこうということでやっておりますので、なかなか劇的にっていうものは難しいんですけども、何とか、ＩＣＴ機器も活用しながら、興味関心を引き出して、学びにつなげるということをやっておりますので、期待していただければと思います。

山本教育長　　それでは続けて学校教育課お願いします。

新名学校教育課長　　松東みどり学園への入学希望者の募集になります。３番のところの募集対象・人数のところをご覧ください。松東みどり学園の教育方針を理解し、学校の特色を生かした学習に積極的に参加できる、市内在住の児童生徒が対象となります。人数は、新１年から７年生の各学年若干名ということになっております。続いて４番、日程についてですが、11 月にオープンキャンパスと説明会を行い、12 月に面接を実施して入学者を決定いたします。５番、周知方法をご覧ください。市ホームページ等を通して周知を図っていきます。６番の表は、広域通学者の推移になります。小学校の入学者が微増ですが、ここ３年間、増えているというような状況になっております。報告は以上です。

山本教育長　　ただいまの報告について質問等ありませんでしょうか。

＜質疑なし＞

山本教育長　　松東みどり学園につきましては、いろいろと取り組みを市内でもう本当に先進的な取り組みを行っております。ちょっと宣伝不足というところもあるのかもしれませんが、かなり特徴的な授業を行っていますので、そのあたりもちょっと理解していただいて、ぜひここで学びたいっていう子が増えると嬉しいなと思っております。またそういう機会がありましたら、こういう学校もあるということを宣伝していただければなと思います。

山本教育長　　それでは委員の皆様方からご意見、提言等ありましたら、お願いします。

中惣委員　　２学期に入り計画訪問でいくつか小中学校を回らせていただいています。子どもたちがとても明るく元気で、挨拶も素晴らしく、いきいきとした姿を見ることができて本当に嬉しく思います。ただ、欠席が目立ち、不登校の児童生徒が増えているという実情も目の当たりにしました。各学校で色々と対策をされていることと思いますが、何より楽しいと思えるような学校作りをしていただきたいと願います。引き続きよろしくお願いいたします。

山本教育長　　はい、ありがとうございます。学びの多様化学校も、今設置に向けて動いていますので、本当にね、１人でも多くの子が、学びに対して、それぞれに合った学びができるといいかなと思っております。他、よろしいでしょうか。

山本教育長　　それではこれより非公開となりますので傍聴の方は退室願います。

＜傍聴者退室＞

山本教育長　　それでは、議案の審議に入ります。議案第 22 号令和６年度小松市立学校生徒自死事案詳細調査委員会設置要綱の制定について学校教育課お願いします。

＜非公開＞

山本教育長　　本日の案件は以上です。これで、本日の教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。